



## Syllabus

授業詳細

開講年度	2017	開講学期	後学期
開講学部等	農学部生命機能学科	授業科目区分	
科目ナンバリング	AgB1B-8CHG-005	時間割番号	26g01
対象学生		対象年次	1～
科目名[英文名]	応用生命化学概論 [Introduction of Applied Life Science]	単位数	2
担当教員[ローマ字表記]	山内 聡, 岸田 太郎, 渡部 保夫, 菅原 卓也, 渡邊 誠也, 西 甲介, 西脇 寿, 秋田 充, 阿野 嘉孝, 関藤 孝之, 秋山 浩一, 丸山 雅史, 美幸 [YAMAUCHI Satoshi, KISHIDA Taro, WATANABE Yasuo, SUGAHARA Takuya, WATANABE Seiya, NISHI Kosuke, NISHIWAKI Hisashi, AKITA Mitsuru, ANO Yoshitaka, SEKITO Takayuki, AKIYAMA Koichi, MARUYAMA Masafumi, KAWADA Miyuki]		

## 授業題目

応用生命化学概論[Introduction of Applied Life Science]

## 授業のキーワード

生命化学、生化学、食品、微生物、遺伝子

## 授業の目的

学生が、応用生命化学のカリキュラムを理解し、今後の学習意欲を持ち、目的意識を持つ。

## 授業の到達目標

学生が応用生命化学のカリキュラムを理解し、生物有機化学、栄養科学、生化学、微生物、動物細胞、植物化学、遺伝子制御工学についての基礎知識を身につけ、研究について理解する。

## ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／共通教育の理念・教育方針に関わる項目

（知識・理解）生物有機化学、栄養科学、生化学、微生物学、動物細胞工学、植物化学、遺伝子制御工学に関する専門知識と技術を修得している。

（思考・判断）地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題、特に生命に関連する諸課題の原因を論理的に説明でき、解決策を見出すことができる。

## 愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる  
 個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる  
 習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる  
 広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる  
 科学的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる

### 授業概要

有機化学、栄養科学、生化学、微生物学、動物細胞工学、植物化学、遺伝子制御工学の分野における自然現象について解説する。

### 授業スケジュール

- 1回 応用生命化学のカリキュラムについて
- 2回 生物有機化学第1回
- 3回 生物有機化学第2回
- 4回 栄養科学
- 5回 生化学第1回
- 6回 生化学第2回
- 7回 微生物第1回
- 8回 微生物第2回
- 9回 動物細胞工学 第1回
- 10回 動物細胞工学 第2回
- 11回 植物化学
- 12回 遺伝子細胞工学第1回
- 13回 遺伝子細胞工学第2回
- 14回 遺伝子細胞工学第3回
- 15回 遺伝子細胞工学第4回（全学実験施設解説を含む）

### 授業時間外学習にかかわる情報

1時間程度

### 成績評価方法

各授業のレポート

### 受講条件

### 受講のルール

### 教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-			ISBN	
	著者名	-	出版社	-	出版年	

## 参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	—			ISBN	
	著者名	—	出版社	—	出版年	

## 教科書・参考書に関する補足情報

—

## 参考書に関する図書館への連絡事項（この欄は学生から参照することはできません）

## オフィスアワー

月曜5時00分から7時00分

## Eメールアドレス

yamauchi.satoshi.mm@ehime-u.ac.jp

## 連絡先

yamauchi.satoshi.mm@ehime-u.ac.jp、syamauch@agr.ehime-u.ac.jp（農学部生物有機化学研究室）

## 参照ホームページ

## その他

[↑ページの先](#)